

令和7年度 無鄰菴・岩倉具視幽棲旧宅 管理運営実績

1. 施設の概要

公の施設の名称

- ① 無鄰菴
- ② 岩倉具視幽棲旧宅

所在地

- ① 京都市左京区南禅寺草川町3 1
- ② 京都市左京区岩倉上蔵町1 0 0

ホームページアドレス

- ① <https://murin-an.jp/>
- ② <https://iwakura-tomomi.jp/>

設置年月

- ① 昭和16年7月
- ② 昭和7年3月

利用料金制度

- 有

設置根拠（法令，条例）

- 京都市無鄰菴等条例

設置目的

- 名勝・史跡を公開し、一般の観賞等の用に供する事業
- 施設の特色をいかした文化財を身近に利用することができる機会の提供
- その他、市長が必要と認める事業

施設の概要

①（無鄰菴）

明治・大正時代の元老山縣有朋の別荘として、明治29年に完成した。庭園は、山縣自身が設計監督し、七代目小川治兵衛が作庭したものであり、洋館は、日露開戦直前の我が国の外交方針を決めた「無鄰菴会議」が開かれたことで有名である。

②（岩倉具視幽棲旧宅）

岩倉具視が尊皇攘夷運動の高まりの中、元治元年（1864）から慶応3年（1867）までの間幽棲した施設。大工藤吉の居宅（現在の附属屋）を購入し、主屋と繋屋を増築して住居とした。

2. 指定管理者

＜指定管理者の名称＞

- 植彌加藤造園株式会社

＜主たる事業所（本店）の所在地＞

- 京都市 左京区鹿ヶ谷西寺ノ前町45番地

＜指定期間＞

- 令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）

3. 指定管理者の業務の運営状況

① 施設の管理運営

【公開および施設利用のための業務】

- 受付窓口業務（貸館申込受付、入場料・使用料徴収等）

【サービス向上の主な取組】

- 適切な人材配置(学芸員，しつらえスタッフ，バイリンガルスタッフ)
- 研修等による利用者対応の向上
- 文化財施設を管理、運営する上で必要なスキルを備えた人材育成の実施と教育体制の強化
- 案内表示や展示レイアウトの改善(バイリンガル対応)
- 半年毎の事業報告冊子の発行
- 公式サイト等のオンラインメディアを活用した情報提供
- オンラインを通じた事前予約優先制および時間ごと上限人数制の実施
- 市民の自主的な活動を促すボランティア（フェロー）制度の実施
- イベントやサービスの実施結果や参加者属性などの自主モニタリング
- 来場者アンケートの実施と分析によるサービスの内容と水準の向上
- 文化財の本質的価値をわかりやすく伝えるガイド
- 文化財の活用と価値の普及に資するイベントの企画と実施

② 施設の維持管理等

【庭園管理】

—概要—

無鄰菴では『名勝無鄰庵庭園保存管理指針暫定版 平成27年』および『名勝無鄰菴庭園保存活用計画 令和4年』を、岩倉具視幽棲旧宅では「現況調査からの管理方針」を基に、植栽等管理を行い、本質的価値（庭園の持つ固有の価値）の保存に努めました。また、危険木対策を進め、安全確保に取り組みました。

—通常管理—

- （無鄰菴）
常に来園者が心地よく過ごせる空間を保つため、日常的に清掃を行い、樹木は自然樹形

に整え、庭園全体の調和を保つよう、年間を通じて管理を行いました。

- (岩倉具視幽棲旧宅)

樹木は自然樹形に剪定し、生垣の刈込み、園池の清掃などを行い、来園者が心地よく過ごせる空間の維持に努めました。敷地境界の樹木は、越境がないよう整えました。

—危険木対応—

両施設ともに、来園者等および建物等の安全のため、年4回の危険木調査を実施し、倒木などの危険性の高い樹木の早期発見や経過観察に努めています。

無鄰菴では、庭園東部のスダジイ、南部のモミジ4本を危険木として伐採しました。

—護岸の修繕—

無鄰菴では、日新電機グループ社会貢献基金のご寄付により、滝下流から池南岸にかけての護岸を修復しました。これに伴って、スギ1本を伐採しました。

【建物管理】

—修繕等管理—

- 考え方

今後、耐震補強を含む本格修理が予定されているため、本格修理の対象となる躯体構造および主要構造部の修繕は極力除外しつつ、来場者等が触れる箇所や目につく箇所の造作を優先して修繕を実施しました。

- 無鄰菴

- ・ 受付室床...2025年9月、受付室の床が沈下したため、下地から修繕しました。
- ・ 茶室雨戸...2025年10月、茶室水屋の吊り雨戸2枚を補強しました。

- 岩倉具視幽棲旧宅

- ・ 繋屋板戸修繕...反りにより浮きが激しかった戸板を修繕しました。
- ・ 有待庵上下水道工事...茶室「有待庵」への上下水道分岐を設置しました。
- ・ 代替倉庫設置...前年度末に解体した倉庫に代わる新倉庫を設置しました。

【施設・設備の維持管理】

- 設備の点検

建物や設備の各種点検を、日常管理業務の項目に定める通り実施しました。

- 防災、電気、空調、給排水、衛生などの各設備の運転監視、法定点検、定期点検等
- 廃棄物処理（毎日）
- 害虫駆除のための薬剤散布（年2回）
- 消防用設備の機器点検（年2回）、総合点検（年1回）

- 保守管理業務

建物内、園内、外周の巡回など、毎日の点検を以下のとおり実施しました。

- 開館時間前、午前、正午前後、午後、閉館時間前 の5回（休園日についても同じ）
- 建築物とその周辺については、施設の使用の前後に巡回・点検を行いました。

- 警備業務

閉場時間中の警備業務については、機械警備と警備員による対応を組み合わせ、防犯システムの適切な計画の作成、センサーの配置、通信回線などの確保、を行ったうえで、警備システムの運用を行いました。

- **清掃業務**

床、壁、扉、ガラス、障子、鏡、什器・備品、照明器具等について、場所ごとに、日常清掃、定期清掃を組み合わせ、ゴミ、ほこり、汚れ等がない状態を維持しました。

トイレにおいては、1日1回以上定期清掃するとともに、1日3回以上の点検を行い、汚れなどを発見した場合にはただちに清掃し、清潔な状態を維持しています。

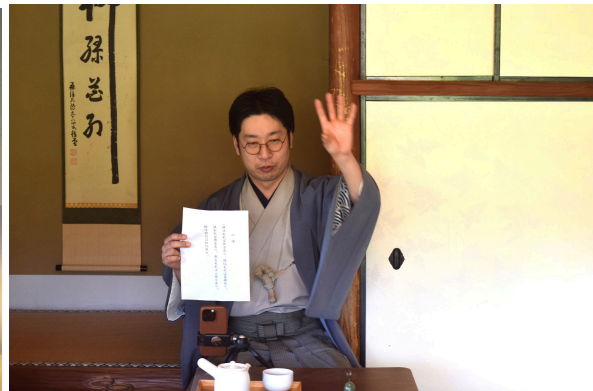
【危機管理体制の整備】

- 危機管理責任者、防火管理者、食品衛生責任者を設置
- 消防訓練の実施（年2回。両回とも左京消防署の指導を受けながらの実施）
- 損害賠償と保険への加入：
 - 施設賠償責任保険（第三者への補償含む）
 - 個人情報漏えい保険
 - 自主事業などに伴うイベント保険

③事業実施

<無鄰菴>

- 文化財講座、お点前体験、能、音楽会などの文化財の活用、普及啓発を目的とした企画
- お香、和食など、京都の地元企業と連携しての庭園文化に関する普及啓発イベント
- 職人による庭園の管理方針について実技を交えてレクチャーする企画
- 文化財の保存と活用への市民参加機会としてのファンクラブの運営（2026年3月時点
ニュースレター配信登録数約1.7万名）
- 市民参加型ボランティア活動の運営と支援（2026年3月時点 登録数49名）
- 開場時間外を利用した一棟貸しなどの特別イベント
- 一般公開部分での抹茶を含む無鄰菴に因んだメニューの提供、オリジナルメニューの充実
による利用促進
- 二十四節気に合わせた限定茶菓子の提供
- 野鳥ガイド、10分無料ガイドなど、予約無しで楽しめる定期的なサービスの提供
- 裏千家講師による茶道教室
- 地域の中の施設の価値をアピールするための、近隣とタイアップしたイベント
- 年齢層に応じた広報印刷物や広報メディアの拡充
- 学術、文化機関と連携し、視覚障害者と庭園を楽しむユニバーサル対応イベント



<岩倉具視幽棲旧宅>

- 近隣教育関連施設との連携強化による学校授業カリキュラムへの施設訪問の組み込み
- 施設の存在と概要を多くの方に伝える看板設置、及び公共共通機関を利用した広報
- 古文書講座、古地図を歩くなど、岩倉具視・歴史に係る企画
- 無料ガイドの恒常的な提供
- ガイドブックなどオリジナルグッズの作成、販売
- 休憩所への歴史関連書籍や周辺ガイドブックの設置
- 周辺散策MAPの作成、無料配布
- 主屋、対岳文庫にある展示品へのキャプション設置
- 企業向け研修サービスの提供
- 喫茶サービスの充実
- SNS等による継続的な情報発信
- メールマガジンによる、より深い興味を持った来場者層に対するイベント等の情報提供
- 夜間イベントの実施
- オンラインによる国内歴史関連施設との連携イベント
- 外部からの持ち込み企画による館内展示（フランス額装展）



(参考) 無鄰菴の自主事業内容

- 夜間の一棟貸しでの法人利用を積極的に誘致している
- 保存に貢献する形での文化財の利活用と活性化を目指す



④サービス提供状況

常時無鄰菴3名体制、岩倉2名体制
その他本社からの応援を適宜補充している

4. 施設の利用状況

		無鄰菴	岩倉
利用者数（人）	前年度値	61,295	5,271
	実績値	63,535	4,582
	対前年度比	104%	87%
施設稼働率（件）	前年度値	345	--
	実績値	352	--
	対前年度比	102%	--

5. 収支状況

指定管理業務の収支状況		
収入状況（円）	委託料	0
	利用料金	48,727,800
	その他	0
	収入計	48,727,800
支出状況（円）	人件費	27,135,391
	事業費	19,880,405
	委託費	0
	少額修繕費	336,380
	消費税	2,895,889
	支出計	50,248,065
収支（円）	収支	-1,520,265

その他の業務の収支状況		
収入状況（円）	委託料	0
	補助金収入	0
	自主事業	48,725,240
	その他	0
	収入計	48,725,240
支出状況（円）	人件費	0
	事業費	42,823,377
	委託費	0
	消費税	2,926,653
	支出計	45,750,030
収支（円）	収支	2,975,210

6. 来場者の意向の把握

① アンケートの実施方法

◆施設利用者アンケート（通年）

【方法】属性、動機、ガイドと喫茶に満足度（無鄰菴）、入場制限の評価、自由意見

【設問数】15問

【回答数】無鄰菴：日本語1,433件、英語159件、中国語140件：合計1,732件

岩倉：849件（全て日本語）

※無鄰菴ではQRコードでスマートフォンなどから入力できる電子版も用意しています。

※無鄰菴の英語、中国語は全て電子版による

◆イベント参加者アンケート(各イベントごと)

【方法】参加者に対し、料金設定・企画内容・職員の応対等について5段階評価で実施。

② アンケートの結果概要

2025年4月に導入した新集計システムによるアンケート結果の概要は、以下の通りです。

◆無鄰菴来場者アンケート

◇集計期間：令和7年度第3四半期（2025年10月1日～12月28日）

◇期間回答総数：285件

◇来場目的：庭園鑑賞95.4%、文化財巡り27.7%

◇10分ガイド：参加率77.5%

◇入場制限：混み具合：5段階中最高評価5：46.0%

◇期待値に対する満足度5段階中最高評価5：74.0%

◆岩倉具視幽棲旧宅来場者アンケート

◇集計期間：2025年5月18日～2026年3月31日（新システム導入後）

◇回答総数：849件

◇入場前の期待値と比較した見学後の満足度5...56.7%

◇満足度の理由

- ・ガイド・説明が良かった：53.1%。
- ・歴史、人物を学べた：17.6%
- ・スタッフが親切、丁寧だった：8.8%

7. その他特記事項

2020年度から導入した定員制による予約優先入場は、繁忙期の混雑を抑え、快適な鑑賞環境の確保に貢献してきました。さらに2023年度からは、文化財の保全、収益の安定化、来場者数の平準化を目的に、繁忙日料金制を導入しています。

2026年度も、来場者の傾向と収益との関係を継続的に分析し、その結果を踏まえた料金設定を行ってまいります。これにより、文化財の価値を守りながら、質の高いサービス提供と持続可能な運営の両立を目指していきます。

2026年7月

植彌加藤造園株式会社

無鄰菴管理事務所／岩倉具視幽棲旧宅管理事務所